

科目名称:	中級日本語Ⅳ	
担当者名:	桜井 正美, 長田 明子, 田中 裕子, 寺崎 祐子, 鹿野 みどり	
区分	授業形態	単位数
留学生別科に関する科目	演習	2
授業の目的・テーマ		
「中級日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」にひきつづき、初中級から中級レベルの文法を習得し、本科へ進級後の活動が円滑に行われるようにする。また日常生活に必要な会話能力、聴解能力を更に向上させ、まとまりのある読み物を読んだり、身近なことについて詳しく表現する力を養う。		
授業の達成目標・到達目標		
初級日本語Ⅰで習得した初級日本語の定着と運用力を高め、中級レベルの表現、語彙を学び、更なるコミュニケーション能力の向上を目標とする。そのため、能力試験N2レベルの文法や異文化理解を促す読み物、実践的な場面での会話例や聴解などが網羅されたテキストを十分に消化することを到達目標とする。		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60		15	25	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《氏名・内容》 桜井 正美 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 25年
	《氏名・内容》 長田 明子 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 19年
	《氏名・内容》 鹿野 みどり 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 12年
	《氏名・内容》 田中 裕子 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 12年
	《氏名・内容》 寺崎 祐子 石川県国際交流協会における授業等	《経験年数》 10年

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
文法理解	中級レベルの文法構造を理解し、様々な場面で応用できる。	中級レベルの文法構造を理解し、正しく使うことができる。	中級レベルの文法構造を理解し、不正確ではあるが、使用することができる。	中級レベルの文法構造を正しく理解できない。
会話のやりとり	興味関心のある分野で、要点を理解し、自分の考えを話すことができる	身近な話題について、要点を理解し、自分の考えを話すことができる。	身近な話題について、要点を概ね理解し、自分の考えを話すことができる。	身近な話題についても、聞いて理解することが困難で、自分の考えを話すことができない。
読んで理解する	幅広い分野の様々な話題について、内容をほぼ理解することができる。	興味関心がある分野なら、内容をよく理解することができる。	興味関心がある分野なら、内容をほぼ理解することができる。	興味関心がある分野であっても、内容を理解することが困難。
書いて発表	様々な話題について、経験や意見を書くことができ、発表することができる。	関心のある話題について、経験や意見を書き、発表することができる。	関心のある話題について、不正確ではあるが、経験や意見を書き、発表することができる。	関心のある話題であっても、経験や意見を書くことが困難で、発表が難しい。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 「みんなの日本語中級Ⅰ」1課 読む・書く	語彙・文法の予習(第1・2回)	45分
第2回 「みんなの日本語中級Ⅰ」1課 読む・書く プレゼンテーション	語彙・文法の予習(第1・2回)	45分
第3回 「みんなの日本語中級Ⅰ」3課 話す・聞く	語彙・文法の復習(第1・2回)及び予習(第3・4回)	45分
第4回 「みんなの日本語中級Ⅰ」3課 話す・聞く 会話ロールプレイ	語彙・文法の復習(第1・2回)及び予習(第3・4回)	45分
第5回 「みんなの日本語中級Ⅰ」5課 文法	語彙・文法の復習(第3・4回)及び予習(第5・6回)	45分
第6回 「みんなの日本語中級Ⅰ」5課 文法	語彙・文法の復習(第3・4回)及び予習(第5・6回)	45分
第7回 「みんなの日本語中級Ⅰ」6課 読む・書く	語彙・文法の復習(第5・6回)及び予習(第7・8回)	45分
第8回 「みんなの日本語中級Ⅰ」6課 読む・書く プレゼンテーション	語彙・文法の復習(第5・6回)及び予習(第7・8回)	45分
第9回 「みんなの日本語中級Ⅰ」8課 話す・聞く	語彙・文法の復習(第7・8回)及び予習(第9・10回)	45分
第10回 「みんなの日本語中級Ⅰ」8課 話す・聞く 会話ロールプレイ	語彙・文法の復習(第7・8回)及び予習(第9・10回)	45分
第11回 「みんなの日本語中級Ⅰ」10課 文法	語彙・文法の復習(第9・10回)及び予習(第11・12回)	45分
第12回 「みんなの日本語中級Ⅰ」10課 文法	語彙・文法の復習(第9・10回)及び予習(第11・12回)	45分
第13回 「みんなの日本語中級Ⅰ」11課 読む・書く	語彙・文法の復習(第11・12回)及び予習(第13・14回)	45分
第14回 「みんなの日本語中級Ⅰ」11課 読む・書く プレゼンテーション	語彙・文法の復習(第11・12回)及び予習(第13・14回)	45分
第15回 「みんなの日本語中級Ⅱ」13課 読む・書く	語彙・文法の復習(第13・14回)及び予習(第15・16回)	45分
第16回 「みんなの日本語中級Ⅱ」13課 読む・書く プレゼンテーション	語彙・文法の復習(第13・14回)及び予習(第15・16回)	45分
第17回 「みんなの日本語中級Ⅱ」15課 文法	語彙・文法の復習(第15・16回)及び予習(第17・18回)	45分
第18回 「みんなの日本語中級Ⅱ」15課 文法	語彙・文法の復習(第15・16回)及び予習(第17・18回)	45分
第19回 「みんなの日本語中級Ⅱ」16課 話す・聞く	語彙・文法の復習(第17・18回)及び予習(第19・20回)	45分
第20回 「みんなの日本語中級Ⅱ」16課 話す・聞く	語彙・文法の復習(第17・18回)及び予習(第19・20回)	45分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 1 8 課 読む・書く	語彙・文法の復習(第19・20回)及び予習(第21・22回)	45分
第22回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 1 8 課 読む・書く プレゼンテーション	語彙・文法の復習(第19・20回)及び予習(第21・22回)	45分
第23回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 2 0 課 文法	語彙・文法の復習(第21・22回)及び予習(第23・24回)	45分
第24回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 2 0 課 文法	語彙・文法の復習(第21・22回)及び予習(第23・24回)	45分
第25回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 2 1 課 話す・聞く	語彙・文法の復習(第23・24回)及び予習(第25・26回)	45分
第26回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 2 1 課 話す・聞く	語彙・文法の復習(第23・24回)及び予習(第25・26回)	45分
第27回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 2 3 課 読む・書く	語彙・文法の復習(第15・16回)及び予習(第17・23回)	45分
第28回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 2 3 課 読む・書く プレゼンテーション	語彙・文法の復習(第15・16回)及び予習(第17・23回)	45分
第29回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 総復習	語彙・文法の復習	45分
第30回 「みんなの日本語中級Ⅱ」 総復習	語彙・文法の復習	45分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、語彙・文法の復習及び予習・発表準備をすることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 宿題 15%、授業への積極的関与・授業内での発表等 25%の総合評価</p>		
課題に対するフィードバック		
授業内での発表について、コメントをフィードバックする。		
教科書・参考書		
<p>教科書:『みんなの日本語中級Ⅰ』『みんなの日本語中級Ⅱ』教科書の該当ページを開きながら解説・練習を行う 参考書:『みんなの日本語中級Ⅰ 翻訳・文法解説書 各国語版』『同Ⅱ』以上スリーエーネットワーク発行</p>		
備考		